

船橋に備え置いてください！

衣浦港の地域的情報（参考）

1. 衣浦港の気象・海象等の特性

- ・港内一帯は、底質泥で錨かきが良く潮流も弱い。
- ・大型船は検疫錨地付近に、小型船は5号地東側に投錨するのがよい。

2. 衣浦港の港外避難等に関する勧告基準

(1) 避難準備勧告

発出時期：台風の強風域（風速15m/s以上）が衣浦港にかかる6時間前。

ただし、夜間の場合は日没6時間前。

勧告内容：在泊船（小型船等を除く）は荒天準備となし、運航できるよう準備すること。

小型船等は河川運河等の安全な場所に避難するため準備すること。

設備を備える船舶は、次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・レーダー等により自船の位置を監視すること。
- ・台風情報、気象海象状況に留意すること。等

(2) 避難勧告

発出時期：台風の暴風域（風速25m/s以上）が衣浦港にかかる可能性があるとき、強風域がかかる3時間前。

ただし、夜間の場合は日没3時間前。

勧告内容：総トン数1,000トン以上の船舶は、速やかに港外に退避すること。

小型船等は、河川運河等の安全な場所に避難又は陸揚げすること。

設備を備える船舶は、次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・走錨防止のため、レーダー及びAIS等により自船の位置を連続監視すること。
- ・機関はスタンバイ状態とし、直ちに運航できる体制を保持すること。
- ・最新の台風情報、気象海象状況及びその突然の変化にさらに注意すること。等

3. 走錨が発生しやすい海域

衣浦港の南に位置する河和港及び一色港の沖合では、過去に走錨船による乗揚げ事故が発生しています。

緊急連絡先

○衣浦海上保安署／衣浦港長：（電話）0569-22-4999

○伊勢湾海上交通センター：（電話）0531-34-2443

（VHF）16ch又は13ch「いせわんマーチス」

○海上保安庁：（電話）118番

（VHF）16ch又は12ch「なごやほあん」



最寄りの海上保安部署や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。